

Ⅲ-1 子どものほめ方、叱り方を考えてみましょう

エピソード1

子ども会の廃品回収の日、小学校1年生の幸子さんはいつも張り切って仕事をします。古新聞の束を一人で運びます。

あるとき重い新聞の束を辛そうに運んでいた幸子さんを、子ども会の役員の方が手伝おうとしました。

すると幸子さんは「ひとりで運ぶ」と大きな声で叫び、手伝わせません。

その様子を見ていた幸子さんの母親が、「なんて強情な子なの。手伝ってもらえばいいじゃない」と、幸子さんに言いました。



Work①

エピソード1を読み、幸子さん・子ども会役員・幸子さんの母親になって、ロールプレイをしてみましょう。

Work②

自分が幸子さんの母親だったら、どう対応しますか。考えてみましょう。

エピソード2

子ども会の「親子で劇を観る会」でのことです。

劇が始まる前、役員の方々が「劇場内飲食禁止」というプラカードを持って、場内を歩いていました。それなのに、劇が始まって場内が暗くなると、あるきょうだいがお菓子を食べ始めました。

その様子を見ていた別の家族の父親が「飲食禁止ですよ」と小さな声で指摘しました。

すると子どもたちの母親が「怖いおじさんに叱られるから、お菓子を食べるのは止めなさい」と言いました。

Work③

エピソード2を読み、お菓子を食べるきょうだい・注意をする別の家族の父親・きょうだいの母親になって、ロールプレイをしてみましょう。

Work④ 母親の言葉が子どもたちにどのような影響を与えるかを考えましょう。

資料

* 悩みや気がかかりの中で、現在もっとも気にかかっていることはどのようなことですか。*

	小学校低学年（小1～小2生）	小学校中学年（小3～小4生）	小学校高学年（小5～小6生）	中学生（中1～中3生） (%)
1位	犯罪や事故に巻き込まれること 18.9	犯罪や事故に巻き込まれること 15.3	犯罪や事故に巻き込まれること 13.6	子どもの進路 11.5
2位	友だちのかかわり方 9.0	友だちのかかわり方※ 7.8	受験準備 8.2	犯罪や事故に巻き込まれること 9.9
3位	ほめ方・しかり方 7.6	子どもの性格、現在の態度や様子※ 7.8	友だちのかかわり方 7.4	受験準備 7.0
4位	子どもの性格、現在の態度や様子 6.4	ほめ方・しかり方 5.0	子どもの進路 6.8	勉強の成績 6.2
5位	しつけの仕方 4.9	整理整頓・片づけ 4.7	子どもの性格、現在の態度や様子 5.7	友だちのかかわり方 5.9
6位	仕事と家庭の両立★ 3.8	子どもの進路 3.6	子どもの教育費 4.3	子どもの教育費 5.0
7位	子どもの食事のとり方 3.3	家庭学習の習慣 3.5	家庭学習の習慣 4.2	家庭学習の習慣 4.8
8位	こころの健康★ 3.2	しつけの仕方 3.3	ほめ方・しかり方 3.6	子どもの性格、現在の態度や様子 4.5
9位	整理整頓・片づけ 3.1	子どもの食事のとり方 3.2	こころの健康★ 3.2	携帯電話やパソコンの使い方 4.0
10位	子どもの教育費 人間関係★ 2.9	人間関係★ 3.1	整理整頓・片づけ 3.0	整理整頓・片づけ からだの健康★ 2.8

注1 38項目から1つ選択。 注3 ※印は同率2位。
 注2 ★印は母親自身の悩みや気がかかり。 注4 上位10項目のみを表示した。

[Benesse 教育研究開発センター 第3回子育て生活基本調査（幼児版）2008]

アドバイス

表面的ではないほめ方、感情的でない叱り方……。両方とも難しいと感じる親は多いようです。きちんと伝わっているか子どもの目を見て確かめながら、ほめたり叱ったりするようにしましょう。



Ⅲ-2 言っただけでできるようになる子どもはいません

エピソード

小学3年生の太郎君は、とても元気な男の子です。いつも学校から帰ると、大急ぎで宿題を済ませ、外に飛び出していきます。机の上には、教科書やノート、筆箱が乱雑に置かれたままです。ランドセルもベッドの上に、中味が半分出た状態で投げ出してあります。

お母さんは、「きちんと片付けてから遊びに行きなさい」と声を掛けているのですが、いっこうに直りません。たまに「片付けたよ」と言うので部屋をのぞいてみると、机の上にノートや筆箱が重ねて置いてあるだけです。その周りにはおもちゃがいくつも出したままになっています。こうしていつもお母さんが、子ども部屋を片付けることになってしまいます。

夜になって太郎君は、翌日の時間割をそろえていました。しかし、明日持っていくようになっている30センチものさが見つかりません。

太郎君が、「お母さんが、勝手にぼくの部屋を片付けるから分からなくなるんだよ」と文句を言いました。

お母さんは、「太郎が部屋を片付けないからいけないでしょ」と、大きな声で怒ってしまいました。



Work① 太郎君とお母さんになって、ロールプレイをしてみましょう。

Work② お母さんの今までの対応について話し合ってみましょう。



Work③ 27ページのアドバイスの言葉にあてはめて、太郎君に片付け方を教える手順や留意点を考えてみましょう。

アドバイス

①子どもが自分から取り組めるような方法や言葉掛けを考えてみましょう。

「片付けなさい」「～しなさい」という命令口調だけでは、子どものやる気をそぐこととなります。また、自分で判断せず、その場限りで動く子どもにしてしまいます。

有名な言葉に「言って聞かせ、やって見せ、やらせてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」があります。



言って聞かせる

・片付け等が大切であることを命令口調でなく伝える。

やって見せる やらせてみる

・手順を一つずつ説明しながら、やって見せる。
・かえって手間がかかっても、やらせてみる。
・最初は一緒にやって、徐々に手を引いていく。

ほめる

・きれいに片付けられなくても、片付けた行動自体をほめる。
・1週間続いたら、「続いたこと」をほめる。
・家族みんなの前で、にこにこ顔でほめる。

②収納ボックスなどを工夫し、手際よく片付けられる方法を考えてみましょう。

③小学校低学年の子どもにはチェック表を作成し、一緒に点検しましょう。

資料 家庭で守らせている決まりやルール

あなたご家庭で、お子さんに守らせている決まりやルールは、どんなことですか。

選 択 肢		全体	年少児	年中児	年長児	1~3年生	4~6年生
①	食事のときはテレビを消す	5.5	7.8	7.8	5.2	4.8	4.6
②	場に応じて「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う	21.8	23.6	21.8	22.3	21.5	21.2
③	遊んだ後は片付ける	16.4	16.7	17.8	18.1	16.5	14.6
④	脱いだ靴をそろえる	5.1	4.4	4.3	5.8	5.3	5.0
⑤	きょうだい仲良くする	8.9	8.3	10.0	7.8	9.3	9.3
⑥	パソコンやカメラ、携帯電話は勝手に触らない	2.0	2.0	0.9	1.6	1.6	2.7
⑦	「おはよう」「おやすみなさい」のあいさつをする	14.7	12.7	14.0	14.5	13.0	16.1
⑧	時間を決めてテレビを視聴する	3.9	3.9	3.3	2.6	5.6	4.6
⑨	出された食事は残さずに食べる	10.0	8.3	8.8	10.1	10.4	10.4
⑩	歯磨きをする	11.7	12.3	11.3	12.0	12.0	11.5
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【愛知県幼児教育研究協議会 実態調査の概要（平成21年度愛知県調査）より】

Ⅲ-3 子どもの感受性にどう向き合いますか

エピソード1

小学校2年生のさくらちゃんは、少し太めの赤いほっぺの女の子です。普段から自分でも気にしています。クラスの友達から「りんごっ子!!」と、からかわれています。その場では気にしないように笑っていますが、家に帰ると悲しくてしかたありません。



Work①

あなたは、子どもの頃にかからわれたことがありましたか。その時どんな気持ちになったか思い出してみましょう。

Work②

あなたは、子どもの頃に人をからかったことがありましたか。その時どんな気持ちになったか思い出してみましょう。

Work③

次の4人の意見についてどう思いますか。あなたはだれの意見に賛同しますか。

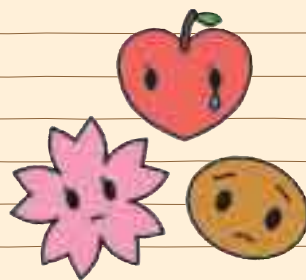
- Aさん: そんな小さなこと気にするなんて、これから先、やっていけないよ。
- Bさん: 親しみをもって、言ったんじゃないの? 悪気があるわけじゃないし……。
- Cさん: 本人がいやだと思ったら、それはいじめと同じよ。
- Dさん: やめて! と、言えない子のことも分かってあげて、周りが考えてあげなきゃ。

Aさん……	()
Bさん……	()
Cさん……	()
Dさん……	()

わたしは、()さんの意見に賛同します。

エピソード 2

友達のゆきちゃんが帰り道、さくらちゃんを見かけ、「りんごっ子ー!!」と遠くから呼んでいました。それを聞いて男子のいさむ君は、「りんご、おれにくわせろー」とさくらちゃんに駆け寄ってきました。さくらちゃんは、泣き出して家のほうへ走って行ってしまいました。これを見ていたゆきちゃんは「あー、いけないの。いさむ君たら、さくらちゃんをいじめた!」と大きな声で言いました。



Work④ それぞれの親の立場になったらどんな対応するか考えてみましょう。

ゆきちゃんの親の場合

いさむ君の親の場合

さくらちゃんの親の場合

Work⑤

自分の意見を発表しながらグループで話し合ってみましょう。「そんなつもりで、言っていないのに…」という感情の行き違いについても考えてみましょう。

Ⅲ-4 子どものゲームについてどう思いますか

エピソード1

雄太君の家には、ゲーム機はありません。雄太君は、毎日、お母さんに内緒でゲーム機のある友達の家へ遊びに行きます。そして、ゲーム機を借りると黙々とゲームをしています。
友達は、公園で遊びたい様子です。



Work① エピソード1を読んで、気になることや感想を書きましょう。

Work② それぞれの家庭のゲーム事情を発表しましょう。

エピソード2

雄太君は、お年玉や小遣いを貯めてゲーム機を買いました。
両親とゲーム機を買うにあたって、使用時間などのルールを決めましたが、なかなか守ることができません。



Work③ 雄太君、母親の役割を決め、ロールプレイをしてみましよう。
それぞれの立場になって考えてみましょう。

母親：雄太は、どうして約束が守れないの。今日は、ゲームをする日じゃなかったでしょ。

雄太：そんな約束は、お母さんが勝手に決めたんじゃないか。

母親：（ ）

雄太：（ ）

Work④

子ども自身がルールを決めるためにはどうしたらよいか、話し合ってみましょう。

資料 ゲームをする子どもが増加

テレビゲームを「ほとんどしない」子どもが減った。とくに女子では、「ほとんどしない」の比率が、小学生で35.5%から26.0%、中学生で55.0%から34.8%と、大きく減少している。

* あなたは、ふだん次のようなことをどれくらいしますか。1日のだいたいの時間を教えてください。*
* テレビゲームをする時間（経年比較 学校段階別・性別）*



注) テレビゲームは「テレビゲーム(パソコンゲーム、携帯型ゲーム機、携帯電話のゲームを含む)」としてたずねている。

【Benesse 教育研究開発センター 第2回子ども生活実態基本調査 速報版 (2009年)】

Ⅲ-5 早寝・早起き・朝ごはん

エピソード

小学4年生のたけし君は、いつも夜更かしをして、なかなか起きることができません。そのため、通学班の集合時間にいつも、間に合いません。

今日もお母さんが、
「もう、7時よ!早く起きなさい!」
と叫んでいます。最近は、お母さんもあきらめています。

7時半を過ぎ、あわててたけし君が起きてきました。
「わー、遅刻だ!どうして起こしてくれなかったんだよ。あー、行かなくちゃ……。もう、行くよ。」

顔も洗わず、朝ごはんも食わず、駆け出していきます。こんなことが、毎日続いています。

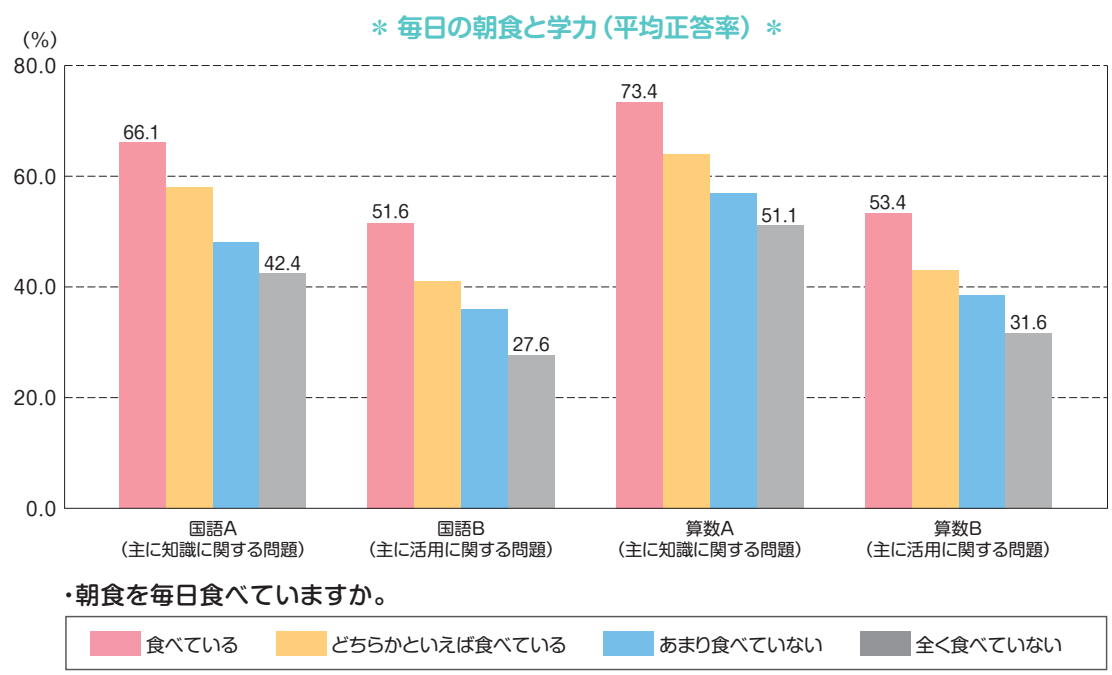
先日は家庭訪問で先生から、学校では勉強にも集中できていないことや、友人とのトラブルも多くなっていることを聞きました。



Work① エピソードを読んで気になることや感想を書きましょう。

Work② 早寝・早起きをするためにどんな工夫があるかを記入し、グループで話し合ってみましょう。

資料 子どもの学力と家庭生活



- ・朝食をきちんと食べる子どもほど学力が高いという結果が出ています。
- ・朝食は身体と脳を十分に働かせるための大切なエネルギーなのです。

Work③ 「子どもの学力と家庭生活」を見て、気付いたことを書き、話し合しましょう。

アドバイス

人の脳には時計があります。心と身体と脳の元気にとっても大事な時計です。この時計は、すぐに遅れてしまいます。夜更かしをするとますます遅れる時計です。この遅れを“朝の光”が直します。生活リズムを直すには、早寝よりも早起きを徹底することがコツです。“朝日”を浴びたそのあとは、朝ごはんをきちんと食べて、脳と身体にエネルギーを注入しましょう。

現代の食生活は7つのコ食(孤食、個食、固食、粉食、子食、濃食、小食)が指摘されます。ただ食べればよいというのではなく、その内容や食べ方も見直してみましょう。

